

農業用水は、地域生活でも活躍しています。

平成15年9月に栃木県黒磯市の工場で発生した火災の消火に、那須野ヶ原の農業用水が利用されました。火災現場の近くを流れる熊川には通常水が流れていないため、消防当局より農業用水を熊川へ放流するよう要請があり、那須野ヶ原土地改良区連合がこれに応じて最大5.5t/秒を緊急放流しました。

那須野ヶ原の消火活動(栃木県) A



写真提供 / 黒磯那須消防組合

熊川への緊急放流水をポンプで取水

平常時の熊川 B



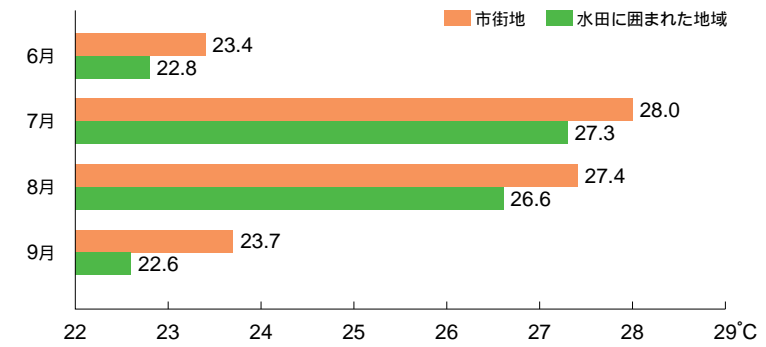
普段は水が流れていない熊川



水田地域は都市部の気温上昇を緩和します。

農村地域(水田地域)では、作物による光合成や蒸散により空気中の光や熱が吸収され、水面(水田)からの蒸発等により気温の上昇が和らげられています。

平成13年度 気象観測結果(三重県津市等における平均気温)



三重県の安濃川流域では、6月から9月までの期間、周囲を水田に囲まれた地域は、市街地に比べて、平均気温が0.6 ~ 1.1 低くなっています。

資料) 東海農政局農村計画部資源課

農村部の気温は都市部より1 前後低くなるために、大気の循環により、農村部の冷気が都市部に流れ、気温上昇を緩和します。

気候緩和における水田の役割

